

文化財などの保全事業に補助

自治会や団体が行う地域の中で守られてきた文化財や伝統行事を、後世に継承していくための事業に補助します。新型コロナウイルス感染症によつて実施や継承に影響が出ている民俗芸能・伝統行事については、補助の上限額を増額しています。

【対象】◆文化財の修理◆収蔵庫の設置・修繕◆無形文化財(民俗芸能・伝統行事など)の用具の購入・修繕◆無形文化財の映像記録の作成◆説明板の設置 など

【申し込み方法】申請書(市ホームページ)に掲載、各自治会長宛てにも送付)に必要事項を記入し、6月30日(金)までに文化振興課へ。

▼詳しくは、文化振興課(☎66・1019)へ。

温かい善意ありがとうございます

皆さんのご理解とご協力でのとおり義援金と救済金が集まりました。義援金と救済金は、日本赤十字社を通じて

被災された人々への義援金や被災国で実施される救助活動などに役立てられます(金額は受け付け開始から令和5年3月31日までの累計額)。

【義援金】◆平成30年7月豪雨災害義援金：1,763円

◆令和2年7月豪雨災害義援金：5,315円◆令和4年7月大雨災害義援金：2,046円◆令和4年台風15号災害義援金：4,545円◆令和4年8月3日からの大雨災害義援金：15,153円

【救済金】◆ウクライナ人道危機救済金：562,535円◆2023年トルコ・シリア地震救済金：170,186円

《日本赤十字社舞鶴市地区》

赤十字の活動資金に協力を

6月30日(金)まで、各自治会などを通じて災害時の救済・支援活動などを実施するための活動資金を募集します。皆さんの温かいご協力をお願いします。

▼詳しくは、日本赤十字社舞鶴市地区(福祉企画課内、☎66・1011)へ。

みどりのカーテン・「L」型ストロークを開催

市内で育成されたみどりのカーテンの出来栄や効果、創意工夫などを審査して表彰するコンテストを開催。

【期間】8月7日(月)～9月6日(水)

【対象】みどりのカーテン設置に取り組み市内の個人や団体

【申し込み方法】申込専用フォーム(左下コードからアクセス可)

【対象】8月7日(月)～9月6日(水)のカーテンの写真を添付し郵送か持参でまいづる環境市民会議事務局(生活環境課 内、☎66・1064)へ。



令和4年度の寄付・寄贈品

昨年度、市に寄せられた寄付を紹介(匿名希望の人・団体は掲載していません)。

- ◆寄付金(敬称略)
 - ◆ふるさと納税 11,217件
 - ◆団体 ◆全京都建設労働組

- 合舞鶴支部：20,570円
- ◆舞鶴アマチュアカラオケ連盟：47,978円◆合同会社ま
- いづる広域観光公社：270,009円◆医療法人久英会片
- 山産婦人科：100,000円
- ◆明治安田生命：219,500円◆T・BOLAN：300,000円
- 【寄贈品】(敬称略)
 - ◆個人 井上彩子：家庭用グランドピアノ

令和5年度新型コロナウイルス接種

【追加接種(5歳以上の人)】個別接種は4月25日から、集団接種は5月22日(月)から。詳しくは個別通知で確認してください。

【初回接種】12歳以上の人で初回接種を希望する人は、市民病院(☎60・9020)へ電話で。乳幼児(6か月～4歳)、小児(5～11歳)は、個別通知を見て申し込んでください。

【舞鶴市へ引越された人】令和5年4月1日以降に舞鶴市へ引越された人へ順次「接種券発行申請書」を送付します。接種を希望する人は申請書を提出してください。

▼詳しくは、ワクチン接種コールセンター(☎68・9225)へ。

まいづる元気人 Vol.102

人が集まる場所を作りたい

自分の目で足を将来を決める

出身は三重県。学生の頃から英語が得意で、大学は京都市内の国際関係の学部で学びを深めた。「将来は英語を使った職業に就きたいと考えていて、大学卒業後は海外出張のある企業に入社しました。しかし、海外出張には10年、20年勤務しているベテラン社員が行くことが多く、想像とは違っていました。それなら自分で海外を回ろうと、数年後、仕事を辞め、自分の足で世界を巡ることにしました」と当時を振り返る。まず訪れたのは中国。その後、香港、タイ、マダガスカル、南アフリカ、エジプトなどさまざまな国を見て回った。「さまざまな国に立ち寄る中でゲストハウスに泊まるのが多かったです。学生の頃からゲストハウスを利用することが多く、日本に帰ったらゲストハウスを運営する

ゲストハウスの支配人に

帰国後はゲストハウス運営に向け、英会話教室で子どもに英語を教えるながら経験とお金を貯めることに。そこで教育や観光地域創生事業などを手掛ける(株)MIYACOと出会い、京都市内でゲストハウスを運営するのを手伝ってほしいと声を掛けられたとのこと。「ご縁もあり、ゲストハウスの運営に携わることになりました。そこは物件まるまるをグループに貸し出す形でしたが、私は宿泊客同士でも交流ができる形だと面白いなと考えていました。そんな時、ちょうど舞鶴で多様な交流・賑わいをコンセプトにまなびあむ内の事業者を探している話を聞き、ぜひ関わりたいと思い応募しました。そしてついに、夢であったコミュニケーションの取れる施設を運営できることになりました」と笑顔で話す。

愛され、人が集まる場所へ

「[GATEWAY MAIZURU]ではお客さん同士の交流や、海外の人との異文化交流が生まれています。先日は、舞鶴高専の入学式に参加される家族同士がここで初めて出合い、親しげにお話しされていました。私も長期宿泊のお客さんと夜一緒にお酒を飲んだり、杉山地区で私が作ったお米をお客さんに食べてもらったりというんな所で交流しています。また、宿泊業だけでなく、英会話ゲームングイベントや親子イベントなどのイベントも開催しています。参加者はすごく楽しんでくれて『またイベントを開催してほしい』と嬉しい感想もいただいています。舞鶴は、夜に集まって交流する場が少ないと感じているので、平日の宿泊客が少ない日は宿泊受け入れをやめて、英会話教室やイベントを開催して「GATEWAYに行けば夜でも何かやっているから行ってみよう」と、自然と地元の人が集まれる、そして地元の人でも宿泊しに来ようと思える場所づくりもしていきたいですね」と話す宮下さん。今後舞鶴に足りないピースを埋めてくれるだろう。



GATEWAY MAIZURU 支配人 宮下 晃紀 さん

まなびあむ4階にある、地元の人や海外の人、学生、企業、団体などさまざまな目的を持った人が集まる若者等交流拠点「GATEWAY MAIZURU」。宿泊客同士がコミュニケーションの取れるゲストハウス運営を夢に、京都市から情熱をもって舞鶴にやってきた支配人がそこにいた。支配人である宮下さんに話を伺った。



杉山地区で稲刈りをする宮下さん(※) ※写真：宮下さん提供



交流スペースでは宿泊客同士の交流も(※)